Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

MIS024-04 会場:301B 時間:5 月 25 日 15:00-15:15

宇宙線に起因する電離誘起核生成実験の現状
Present status of experiments on ion-induced nucleation originating from cosmic rays

増田 公明 [1*]
Kimiaki Masuda[1*]

[1] 名大ＳＴＥ研
[1]STEL, Nagoya Univ.

太陽活動の地球気候への影響を説明するメカニズムの一つとして，電離誘起による核生成が考えられている。宇宙線による大気電離がエアロゾル粒子の成長を促進し，雲量の増加をもたらすというシナリオである。最近，このシナリオを検証する実験が計画され，あるいは進行しつつある。講演ではこれらの実験計画をレビューし，それぞれの特徴を明らかにしながら，今後の見通しを議論する。

キーワード: 宇宙線, 太陽活動, 地球気候, 大気電離, 核生成, エアロゾル
Keywords: cosmic rays, solar activity, global climate, atmospheric ionization, nucleation, aerosol